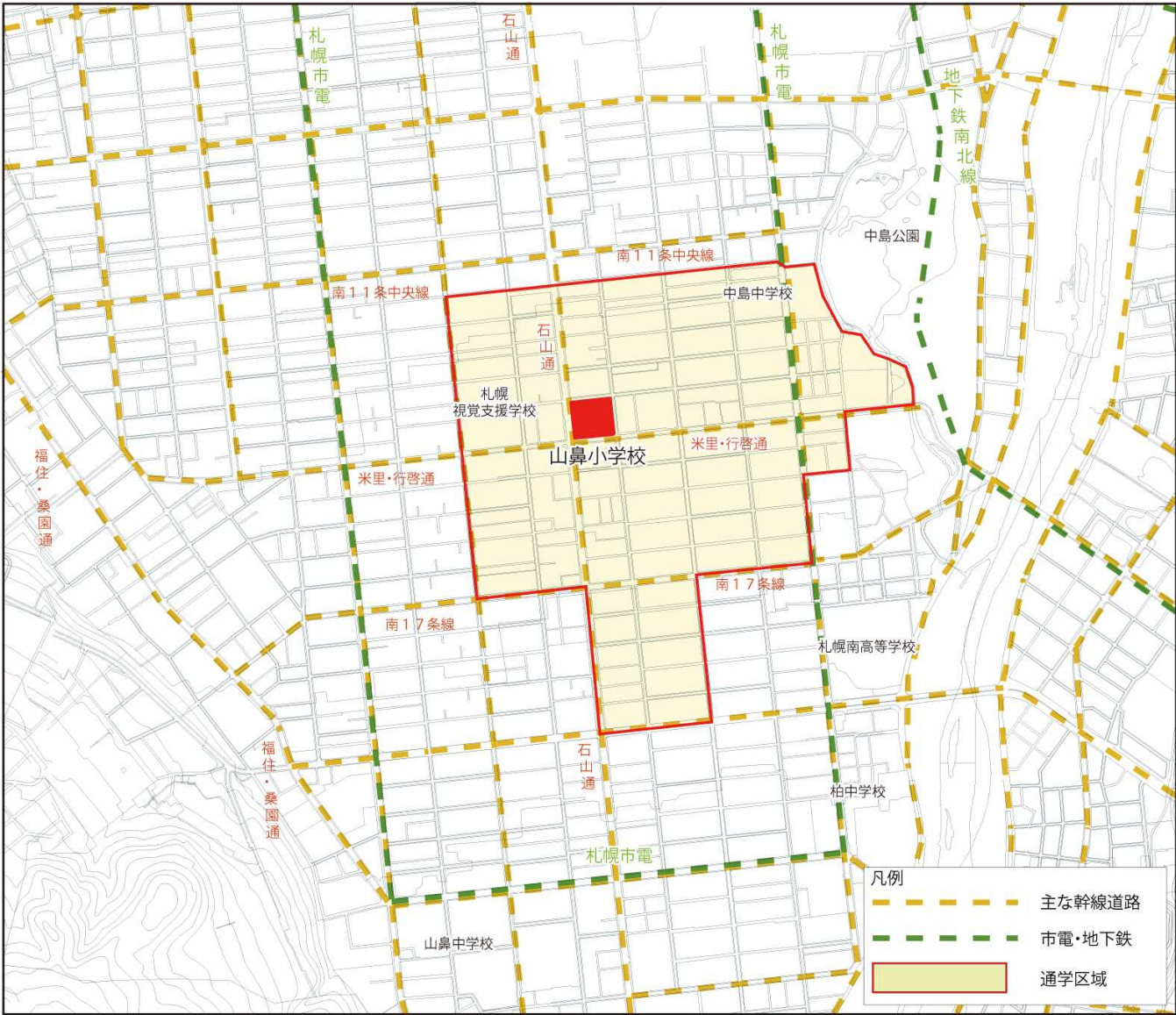


計画地

住所: 札幌市中央区南14条西10丁目1
敷地面積: 9,396㎡
用途地域: 近隣商業地域、第一種住居地域

通学区域

中央区
南12条西6丁目～12丁目 南16条西7丁目～12丁目
南13条西5丁目～12丁目 南17条西9丁目～10丁目
南14条西5丁目～12丁目 南18条西9丁目～10丁目
南15条西7丁目～12丁目



【 通学区域図 】

周辺道路

西側: 都市計画道路	一般国道230号線	幅員23.63m
南側: 都市計画道路	南14条中央線	幅員20.00m
北側: 札幌市道	南14条線	幅員10.91m
東側: 札幌市道	西10丁目線	幅員10.91m

現況敷地及び建物

- ・現在の校舎は昭和47年に鉄筋コンクリート造地上4階建てで建設し、屋内運動場は校舎に内包(3、4階)しています。
- ・校舎は敷地東側、プールは敷地北側、グラウンドは敷地南西側に位置しています。
- ・校舎の主出入口は南側となっています。
- ・西・南・北側には、フェンスが設置されており、敷地内に著しい高低差は存在せず、擁壁も存在しません。
- ・敷地内には、木造校舎時代(大正12年～昭和46年)から存在する「あんずの木」、明治天皇ゆかりの「お声のかりの柏の木」、「明治天皇御駐蹕の地の記念碑」のほか、モニュメント2基が存在します。



【 既存建物配置 】

■ 施設計画概要

既存施設

- ・ 校舎棟・屋内運動場棟:約5,800㎡
- ・ プール棟 :約 420㎡

改築施設

- ・ 校舎棟(給食室を含む):7,181㎡
- ・ 屋内運動場 :1,368㎡
- ・ 児童会館 : 432㎡

■ 整備諸室

①校舎棟

- ・ 普通教室 :18教室
- ・ 特別支援学習室:3教室+プレイルーム
- ・ 特別教室 :7教室(理科室、家庭科室、図工室、第1音楽室、第2音楽室、図書室、教育相談室)
- ・ 余裕教室 :3教室(特別活動室、生活科室、会議室)
- ・ 多目的室 :3教室(一般、ICT対応、少人数対応)
- ・ 管理諸室 :職員室、校長室、印刷室、保健室、用務員室、職員更衣室(男女別)、教材室、物品庫、除雪機置場等
- ・ その他 :昇降口、PTA室、郷土資料室、備蓄庫、ポンプ室、機械室、給食室、配膳車置場、エレベーター、トイレ(男子用、女子用、多目的、職員用)

②屋内運動場

- ・ アリーナ、器具庫、更衣室(男女別)、体育準備室、開放用玄関、指導員控室

③屋外環境施設

- ・ 教材園、グラウンド用物置

④児童会館

- ・ 事務室、集会室、遊戯室(プレイルーム)、クラブ室、多目的ホール

■ 配置計画のポイント

「札幌市小・中学校施設整備基本設計指針」、「山鼻小学校改築ほか工事基本計画」及び敷地の周辺環境や現状建物配置から、施設配置計画を進めるための前提条件を整理します。



安心・安全



経済性



周辺環境との調和



工期・施工計画



屋外環境(グラウンド)

1) 安心・安全で機能的な学校

- ・ 給食運搬車、管理車両の動線と児童の動線を分離します。
- ・ 屋内運動場は緊急避難施設としての機能性に配慮します。

2) 周辺環境との調和

- ・ 周辺環境への日影が最小限となるよう配慮した校舎とします。
- ・ 普通教室及び特別支援学習室は日照に配慮し、南面・東面からの採光可能な配置とします。
- ・ 山鼻地区に調和する校舎デザインとします。

3) 屋外環境

- ・ グラウンドは最大限面積を確保します。

4) 経済性

- ・ 仮設校舎の有無、工事規模、階数など、経済性に配慮した配置とします。
- ・ 与条件を満たすコンパクトな計画とします。

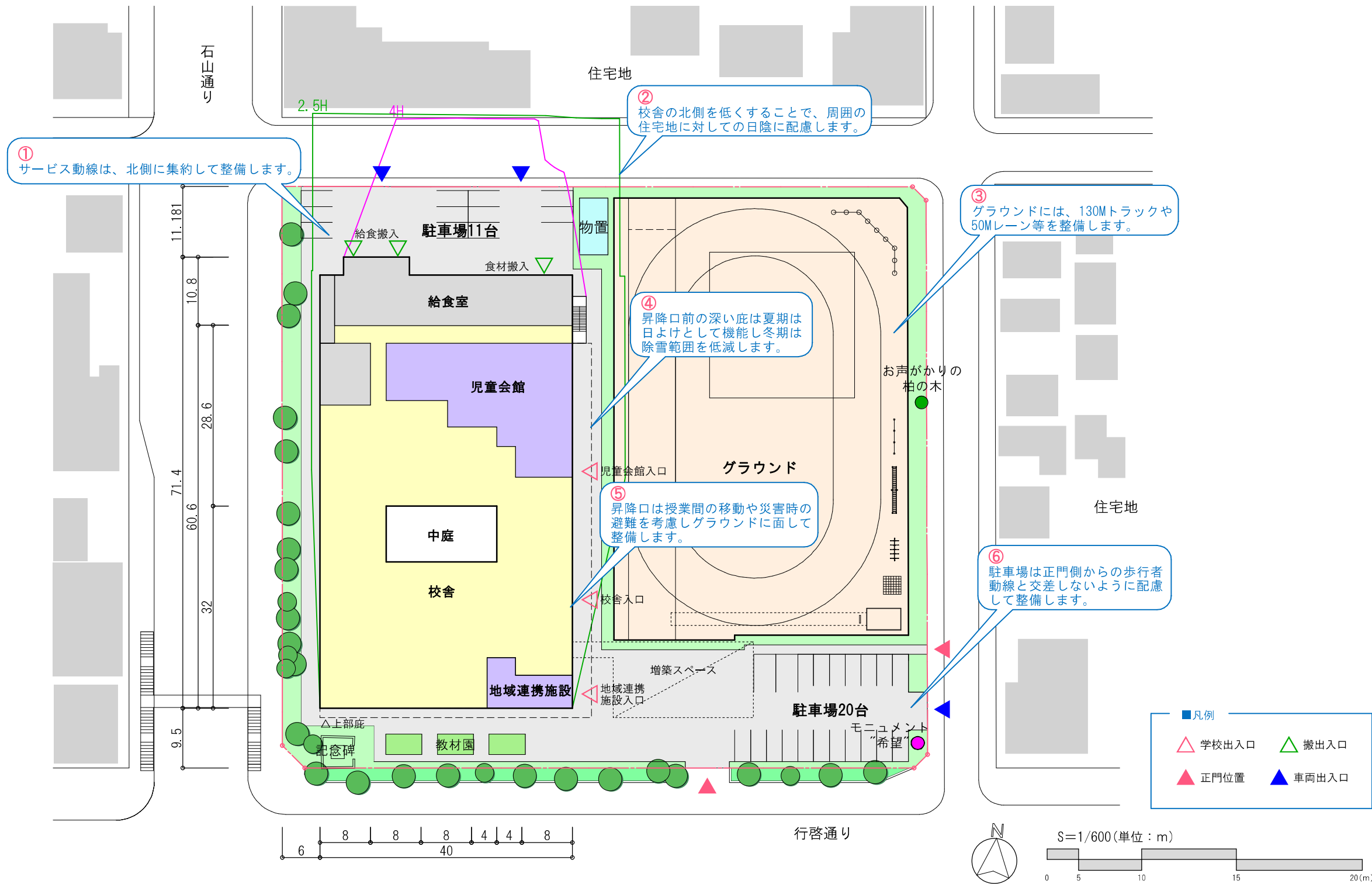
5) 工期・施工計画

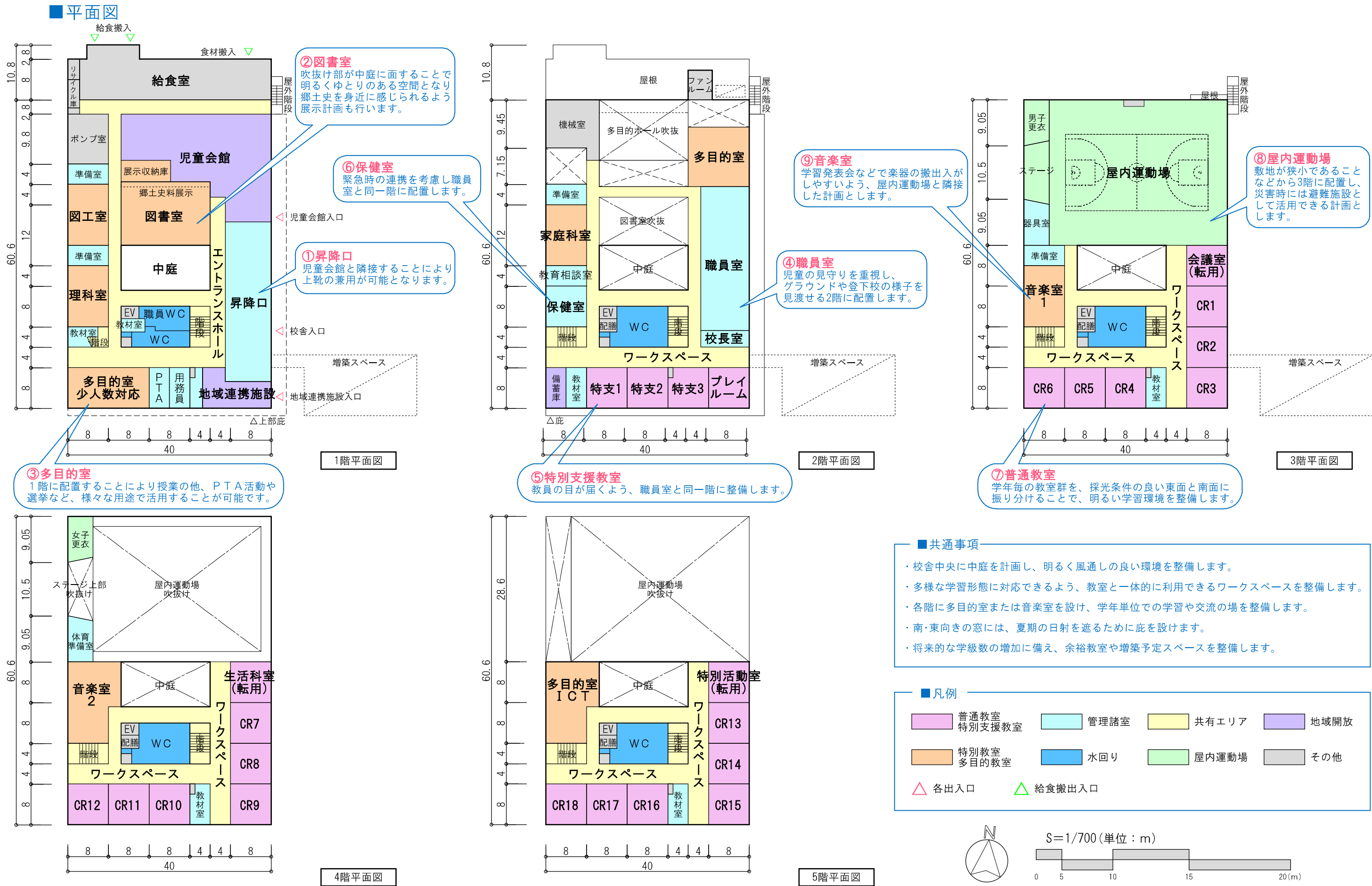
- ・ 児童の学習、活動への影響が最小限となるよう配慮した工期、施工計画とします。
- ・ 工事中の児童への安全性を確保した工期、施工計画とします。

概略工程表

R8				R9				R10				R11				R12			
フェーズ1 6ヶ月 既存プール解体				フェーズ2 23ヶ月 新設校舎・物置建設				フェーズ3 13ヶ月 既存校舎解体				フェーズ4 8ヶ月 グラウンド整備							
				グラウンド不使用期間 3年 9ヶ月															

配置図





■完成イメージ図



※イメージ図のため、実際と異なる場合があります

■完成イメージ図



※イメージ図のため、実際と異なる場合があります